

建替工事の整備期間（標準工期）設定の考え方について

取扱注意

資料⑩

令和7年10月8日
東京二十三区清掃一部事務組合

※資料の記載内容は検討時点のものです。

令和6年度案からの変更点を  または  で示す。

1 関係法令・基準類の改正及び建設業界の動向を踏まえた工期算定

【関係法令・基準類及び建設業界の動向】

働き方改革関連法の趣旨である時間外労働の上限規制、建設工事の担い手確保に対応していくため、働き方改革に取り組む必要がある。

⇒働き方改革の取組の一環として週休2日(4週8休)の達成や自然要因(猛暑)による不稼働の考慮等を踏まえた、適切な工期の確保に取り組むこととなった。

改正前(4週4休)								改正後の例(4週8休)+(猛暑による不稼働)							
	月	火	水	木	金	土	日		月	火	水	木	金	土	日
1週目							閉	1週目	猛		猛		猛	閉	閉
2週目							閉	2週目		猛		猛		閉	閉
3週目							閉	3週目	猛		猛		猛	閉	閉
4週目							閉	4週目		猛		猛		閉	閉

猛暑による不稼働：14.6日/年、117時間/年
⇒約40時間/月、約2時間/日
(夏季：3か月、1か月：20日、1日：8時間で計算)

法令・基準類の改正、建設業界の動向を踏まえて

【清掃一組の対応】

建設業の働き方改革を反映し、週休2日(4週8休)や猛暑による不稼働を考慮した工期を設定する。

⇒600トンの工場の場合、約24か月の工期延長が必要となる。

【600トン】72か月 + 約18か月 + 約6か月 = **96か月**
(第5次標準工期) (4週8休) (猛暑による不稼働※1) (第6次標準工期)

※1 猛暑による不稼働

環境省が公表する「関東地方_東京都_東京地点」におけるWBGT値(気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数)過去3年分(2022年~2024年)について、工期内における8時から17時の間WBGT値が31以上となる時間(休日を除く)を算定し、日数に換算したもの。(14.6日/年)

【標準工期】

法改正や「建替工事工期策定に係る検討支援業務委託」の検討結果に基づき設定した、基準となる工期を標準工期として定める。

(建替工事における実際の工期は、敷地面積や地盤の状況等、工場ごとの施工条件により、標準工期とは異なる可能性がある。)

標準工期を踏まえた建替工事の工事年数を、下表の通り設定する。

第6次標準工期(次期計画)

建替工事
600トン

9年度間(実工期 96か月)

着工年度・3か月 + 中間年度・7年(84か月) + しゅん工年度・9か月

建替工事
900トン

10年度間(実工期 103か月)

着工年度・3か月 + 中間年度・8年(96か月) + しゅん工年度・4か月

2 関係法令・基準類の適用・改正時期、名称及び内容

適用・改正年月	制定者	法令または基準類の名称(主な適用・改正内容)
令和6年4月	国	労働基準法(建設業における時間外労働規制の適用)
令和6年10月	東京都	工事における猛暑による作業不能日数の取扱いに係る運用指針※2(猛暑休の運用)
令和7年7月	国交省	公共建築工事における工期設定の基本的考え方(週休2日確保、猛暑の考慮)

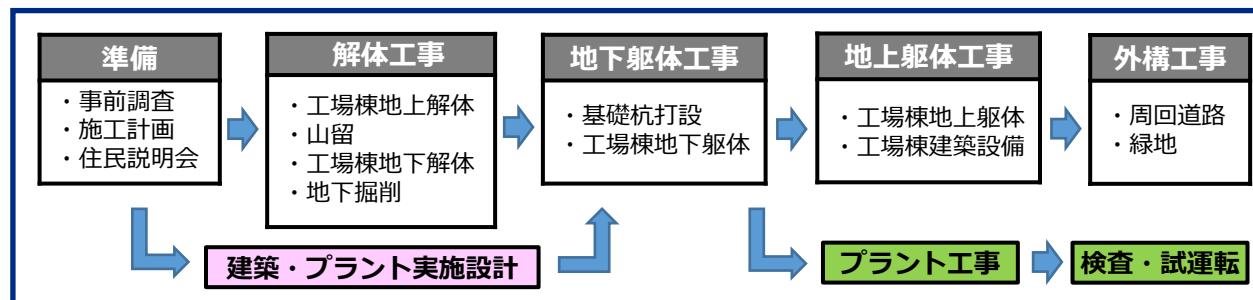
※2 東京都においては、建築工事、電気設備工事、機械設備工事、その他関連工事に適用している。大田区、豊島区ほか各区において、令和7年4月以降、同指針を適用している。

3 標準工期と直近の建替工事实績の関係

標準工期・工場名	処理能力	実施工期(月)
第3、4次標準工期	600トン	61
杉並工場	600トン (300トン×2炉)	60
目黒工場	600トン (300トン×2炉)	69
江戸川工場 (建替中)	600トン (300トン×2炉)	80
第5次標準工期	600トン	72
北工場 (建替中)	600トン (300トン×2炉)	84
第6次標準工期	600トン	96
第6次標準工期	900トン	103

注) 現在建替工事中の江戸川工場・北工場については、現時点で第5次一廃計画の標準工期と比較して、8~12か月長い工期となっている。

(参考) 清掃工場建替工事の標準的な工程



※ 資料の記載内容は検討時点のものです。

4週8休及び猛暑に対応した工期の延伸イメージ【600トン】

①【4週4休・猛暑休なし（第5次標準工期）】

工事年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
稼働月数[月]	3	12	12	12	12	12	9			72
稼働月	1~3月	4~3月	4~3月	4~3月	4~3月	4~3月	4~12月			
閉所日 [日]	日曜日	13	52	52	52	52	39			462
	祝日	5	16	16	16	16	11			
	お盆	0	4	4	4	4	4			
	年未年始	0	6	6	6	6	0			
	合計	18	78	78	78	78	78	54		
作業日[日]	69	287	287	287	287	287	213			1717

※お盆:8/13~16、年未年始:12/29~1/4(1/1除く)



②【4週8休・猛暑休なし（令和6年度時点 標準工期改定案）】

工事年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計	①との差
稼働月数[月]	6	12	12	12	12	12	12	12		90	+18
稼働月	10~3月	4~3月									
閉所日 [日]	土曜日	26	52	52	52	52	52	52		390	+390
	日曜日	26	52	52	52	52	52	52		586	+124
	祝日	8	16	16	16	16	16	16			
	お盆	0	4	4	4	4	4	4			
	年未年始	6	6	6	6	6	6	6			
	合計	66	130	130	130	130	130	130	130		
作業日[日]	114	235	235	235	235	235	235	235		1759	+42

※お盆:8/13~16、年未年始:12/29~1/4(1/1除く)

※稼働月90か月は、「建替工事工期策定に係る検討支援業務委託」の検討結果に基づき設定した工期である。

※作業日数の増加分(+42日)は、風水害対応等に伴う工事遅延の対策として扱う。



③【4週8休・猛暑休あり（令和7年度 第6次標準工期案）】

工事年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計	②との差	①との差
稼働月数[月]	3	12	12	12	12	12	12	12	9	96	+6	+24
稼働月	1~3月	4~3月	4~12月									
閉所日 [日]	猛暑日	0	15	15	15	15	15	15	15	120	+120	+120
	土曜日	13	52	52	52	52	52	52	39	1034	+58	+416
	日曜日	13	52	52	52	52	52	52	39			
	祝日	5	16	16	16	16	16	16	11			
	お盆	0	4	4	4	4	4	4	4			
	年未年始	0	6	6	6	6	6	6	0			
	合計	31	145	145	145	145	145	145	108			1154
作業日[日]	56	220	220	220	220	220	220	220	159	1755	-4	+38

※お盆:8/13~16、年未年始:12/29~1/4(1/1除く)、猛暑日:夏季が対象

※作業日数の増加分(+38日)は、風水害対応等に伴う工事遅延の対策として扱う。